

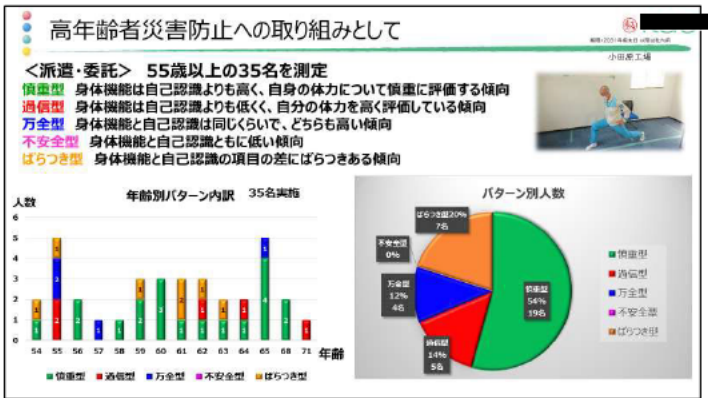
# 《高年齢者》自身の身体機能を知り、災害防止へ繋げる

秘

期限：2031年期末日 以降は社内用

小田原工場

厚労省より推奨されている高齢者災害防止運動として、自身の身体機能を理解して頂く取り組み実施  
 ※現在は請負会社さんの高齢者の方々から実施



## 厚労省の転倒等リスク評価セルフチェック票を活用

転倒等リスク評価セルフチェック票の活用

身体機能測定

質問票(身体機能に対する意識)

結果の解説と注意事項コメント

パターン別

分析とデータ活用イメージ

身体機能結果

項目	2022年	2023年	2024年
①歩行能力・筋力	3	3	2
②敏捷性	5	4	3
③動的バランス	4	4	3
④静的バラ開眼	4	3	2
⑤静的バラ閉眼	5	5	4

身体機能結果の推移

身体機能結果の推移より  
 ・ハンドリフト運搬作業見直し・立ち作業見直し・現場作業の見直しなどを担当部署の上長や協力会社責任者と協議したうえで  
**今後の作業や配置転換などの材料にし、事前に安全への配慮をしたい**

過去3年間の災害件数割合  
 55歳以上 → 全体の25%  
 休業災害 → 55歳以上 重症化しやすい

※厚生労働省ホームページより

厚生労働省: 高年齢労働者の身体的特性の変化による災害リスク低減推進事業に係る調査研究報告書 (mhlw.go.jp)

### 《評価分類》

- 慎重型** 身体機能は自己認識よりも高く、自身の体力について慎重に評価する傾向
- 過信型** 身体機能は自己認識よりも低く、自分の体力を高く評価している傾向
- 万全型** 身体機能と自己認識は同じくらいで、どちらも高い傾向
- 不安全型** 身体機能と自己認識ともに低い傾向
- ばらつき型** 身体機能と自己認識の項目の差にばらつきある傾向

**自身の身体機能を理解した上での  
 行動、無理をしない行動に結びつけ、  
 転倒災害を防ぐ**